

開催日時	平成 26 年 10 月 21 日（火） 18：00～19：30
開催場所	コアかがやき（研修室兼学習室）
参加人数	19 人
出席議員	<p>月田光明副議長</p> <p>森 豊議員（議会運営委員）</p> <p>梅津則行議員（総務文教常任委員）</p> <p>続木敏博議員（経済建設常任委員）</p> <p>秋田慎一議員（民生福祉常任副委員長）</p> <p>松永征明議員（石炭対策特別委員長）</p> <p>鶴間秀典議員（議会広報特別委員）</p>
質疑応答の内容	<p>問：全国的な人口減少の流れは、釧路も同様か。</p> <p>秋田：全国と同様に、出産する世代の女性が減り、高齢化が進むという流れで進んでいる。</p> <hr/> <p>問：新図書館が民間ビルに入居するということのようにだが、駐車場はどのようになるのか。</p> <p>梅津：民間ビル入居は確定ではなく、市長から示されている方針である。現在審議中の総務文教常任委員会でも駐車場は大きな課題として捉えられており、場所や料金設定などについては現在議論している状況である。</p> <hr/> <p>問：図書館を北大通に移転ということだが、将来人口が減少することを考えるとじっくりこない。議会でも移転を前提として進めているのではないか。</p> <p>梅津：事業費の比較パターンとして市から 4 つの案が示されたが、議員からも別に 3 パターンの案を示した。これら全てのパターンを比較したところ、市長が提案した民間ビルへの入居は、他の整備手法と比較して財政的な優位性がないことがわかり、今後も検討が必要であるため、議会としては現在合意に至っていない。</p> <p>月田：市民がどんな機能を図書館に望むかをくみ取った上で、財政負担が軽くなる手法を追求すべきという立場から、委員会でも激しく議論している。人口減が進む釧路市において、子どもたちに負担を残さず、市民の期待する図書館にするため、議会</p>

<p>として慎重に議論していく。</p>
<p>問：図書館の構造も大事だと考えるので、今後の議論をお願いしたい。</p> <p>梅津：おっしゃるとおりで、内部構造はしっかり考えていく必要がある。新図書館整備市民検討委員会の検討内容を踏まえながら、今後市から提出される予定の素案をもって、そういった議論がされることになると思う。</p>
<p>問：大型クルーズ客船の受け入れに対して、耐震岸壁の水深をもっと深くするべきではなかったのか。</p> <p>続木：元々は耐震岸壁として、大規模災害発生時に物資等の輸送を行うことを目的としたものである。色々な目的で使う中で、クルーズ客船の寄港にも利用している。当初は、サン・プリンセス号のような7万トン級の大型客船の入港を想定していなかったという事情があった。同じ場所をさらに深く掘るとするのは、新しく岸壁を整備するようなものであると聞いているが、釧路市が大型クルーズ客船を広く受け入れるまちになるように、他の場所の整備も視野に入れて考えていきたい。</p>
<p>問：北大通がみすぼらしく、観光に訪れた乗客を失望させている。図書館1つ建てたくらいで活性化になるとは思えず、仮に大きな客船が入るようになって、意味のないものになってしまわないかと心配している。</p> <p>続木：乗客がまちで買い物をしやすくするなどの対策を講じる必要があると考える。</p>
<p>問：釧路港を国際バルク戦略港湾として整備するということが、飼料を必要とする酪農が盛んな地域と釧路港とを結ぶ道路を、しっかりと整備する方が先ではないのか。</p> <p>続木：道路整備ももちろん大事であるし、バルク港に指定されたことも良かったと考えている。釧路港はパナマックス級の大型船を受け入れることができ、一度に大量の穀物飼料が陸揚げされる。これにより割安で飼料を買えるようになるので、地元の農家の体力づくりに寄与することができる。</p>

<p>市への 意見・要望</p>	<p>問：外環状道路の整備により、柳橋通を2車線から4車線に拡幅するという市の説明があった。その際に、ある程度の数の街路樹を運動公園へ移植するということがあったが、落ち葉の始末や倒木の心配があるので、予算がつき次第移植してほしい。また、外環状道路の降り口と市道との接続部分に信号機を設置してほしい。</p> <p>続木：経済建設常任委員会では、街路樹の移植や信号機に関する具体的な議論はされていない。ご意向を受け止め、委員会の中で市へ伝えていきたい。</p>
	<p>問：4車線になり交通量が増えることで、自動車の騒音や交通上の危険性を付近住民は懸念している。これらの対策を講じてほしい。また、落ち葉や危険木の対策として、街路樹の剪定をしてはどうか。</p> <p>続木：おっしゃることはもっともであり、貴重な意見として市に伝える。</p>
	<p>問：緑ヶ岡地区において、市道のでこぼこを直すよう市に要望してから、直るまでに3年間かかった。街路樹の落ち葉の清掃も市は動いてくれないのでこちらでやっているが、回収する袋の負担もある。道路維持や環境整備に関してどのように考えているのか。</p> <p>続木：災害等のため応急的に補修しなければならない道路もある中で、できるだけ早く道路補修をするよう市へ伝えていきたい。また、街路樹の件も対策を考えるように市へ伝える。</p> <p>秋田：落ち葉の問題を行政で全て解決することは難しい。袋については市と話をしていきたい。</p>